

追悼企画：

竹島一郎先生を偲んで

(山脈31回卒業生)



雲崗石窟寺院見学 竹島先生の伝説の白ジャージ

『ありがとう、竹島先生』

元鳥取東高校長

尾室 真郷 (山29)

令和6年3月4日、突然竹島一郎先生の訃報が飛び込んできました。2月末までテストの処理をされていたことを耳にしましたので、まさかと思いましたが、最後まで生徒のために壮絶な教師人生を送られた竹島先生。教員人生の大半を東高で過ごし、東高にすべてを捧げられたことに尊い気持ちもついついぽうで、もう少し自身のためには人を使われてもよかったのではないかとの思いも湧いてきます。そのようなことを思ってしまうほど、竹島先生の東高でのお仕事は見事なものでした。



センター試験前日の学年集会 学ラン姿で魂心のエール

初めて先生と出会ったのは平成2年のこと。私より2年後輩の先生は東高在学時代には、生徒会長で応援団長。当時の応援団と言えど泣く子も黙る強面。その印象のままかと思っていまして、出会った先生はこの上なく温厚で礼儀正しい人柄でした。まだ若かった私は、生徒に全力で向き合う先生の授業を見ては、もっと頑張らねばと自らを奮い立たせた記憶があります。

先生は同じ地理の恩師である濱田英一先生の愛弟子。読書家であり、勉強家。地理のあらゆることに精通し、右に出るものは誰もいない教科指導力を持っておられました。

また、いつ何時東高に行っても先生の姿は東高にあり、先生のいらっしゃる職員室の灯りが夜になっても消えないことから不夜城とまで呼ばれたこともありました。応援団の顧問に就任なさったのは、演舞に新しい応援歌が導入された次の年度というタイミングでした。伝統を重んじる応援団にあつて、竹島先生は「時代が変われば新しい風を」という柔軟な姿勢でしなやかに対応され、新しい演舞を応援団に定着させていかれました。野球部の顧問になれば、野球の素人であっても甲子園予選の大会会場から一生懸命ノックする。いつしか白の上下姿と野球帽が彼のト

リードマークにもなりました。ところが、普段の温和な先生とは違って、こと進路指導の際には、強くて揺るがない信念を堅持する姿がありました。決して妥協は許さない。生徒が進路志望に対して少しでも弱気な姿勢を見せようものなら、生徒のみならず担任にまでも徹底的にかかわり続ける姿は容易に真似できるものではありません。「力が足らないのではない。自分から見切りをつけるな。」という生徒への厳しい対応も忘れられません。時には光となつて導き、時には影となつて支える。職員会議においても、先生は、鳥取東高の将来に未来はあるかという問い続け、ともすれば易き方向へ流れようとする子どもたちに対してその可能性を最大限に伸ばすことこそが自身にとつての天命だと思つていらしたのかも知れません。

「教育とは流れる水の上に文字を書くような儂いものだが、それを岩壁に刻むような真剣さで取り組まなくてはいけない。」という教育哲学者森信三氏の求める教育者そのものが竹島先生でした。

平成30年、一緒に中国を訪問しました。常に勉強家の先生はあらゆることをメモに取り授業へと繋げます。日本より進んだ中国のIT文化。バイクは全て電動。

現金を持ち歩くのは日本人。ただ何かが気になる中国において、『郷に入らば郷に従う』の精神で自分を磨き続ける姿は流石でした。そこでも先生はやつぱり白の上下と野球帽の姿でした。



鳥取県植林地研修 熱心にメモを取る竹島先生

毎年、センター試験の前日に行う激励の学年集会では、学ランを着てエールを送っておられました。試験を迎える3年生に心から送るエール。まるで鳥取東高応援団長であるかのように、明日受験に行く生徒たちから大喝采を受けていました。目を閉じれば、人生すべてを鳥取東高へ捧げた先生の姿が今でも浮かんできます。本当に、本当に有難うございました。

竹島先生を偲ぶコメントは他の方からもお寄せいただいております。同封しております記事(別紙)をご参照下さい。

東京東雲会

楽しくアットホームな
東京東雲会
令和5年度総会&懇親会

幹事長 奥田真二(山23)

恒例の東京東雲会総会&懇親会が、令和5年7月1日(土)開催された。

鳥取から原田校長、本部石丸会長、滝波事務局長、京阪神岡田会長また堀田県東京本部長等の来賓をお迎えし、会員を含む61名が出席し開催されました。

まずは、全員で校歌斉唱、思いっきり声を出して歌うことの出来る「制限のないこと」を楽しんで頂きました。

続いて総会に入り、林田会長が挨拶、「昨年百周年で母校を訪れたが、よき伝統がしっかり継承されていると感じた。この伝統を継承していくためにも、同窓会活動を継続していくことが大切だ。」と挨拶され、百周年式典で表彰された鈴木誠名誉会長に対し、東京東雲会からも50年に及ぶご尽力に感謝し、花束を贈呈させて頂いた。

次に幹事会報告、令和4年度会計報告並びに役員就任について発表され承認された。(役員就任については東京東雲会HPにて紹介されておりますのでご覧ください)そしてゲストとして、石丸会長から「初めて東京の総会に出席、コロナ禍で3年間来られなかったこと。百周年の募金のお礼と、記念事業が滞りなく行われたこと等の挨拶があり、原田校長から「今年東高祭が開催されるが、在学生に経験者が居ない、新しい東高祭を作ってもらいたい」話され、印象深く、改めてコロナ禍の3年が思い起こされた次第でした。

続いてミニコンサート 田中洋美さん(山56)のトロンボーン演奏(ピアノ伴奏 井上あみさん)迫力がありながらも優しい一面もあり、スライド楽器の奏でる、温かい特色ある音色を堪能して第一部が終了。

第2部懇親会は、鈴木名誉会長の乾杯の音頭でスタート。

お土産に頂いた竹輪と西瓜などに舌鼓を打ちながら歓談、アフターコロナ・マスクなしでの談笑の輪がいくつも出来上がっておりました。途中百周年式典の様相並びに母校の歴史を綴った映像が上映され、これもコロナで参加できなかった多くの会員にとって思い出深いシーンとなりました。

そしていよいよお楽しみ福引大会。今年は、百周年記念誌ダイジェスト版や郷里ゆかりの食べ物賞品となり、多くの皆様が賞品をゲットでき自然と顔が綻んでおりました。また、法曹会館で同日、鳥取大学農学部関東同窓会にゲストとして上京しておられた、前農学部長 霜村典宏教授(山34)が飛び入り参加され、清酒『強力』が復刻したいきさつを話され、その『強力』も福引賞品に。また、サプライズで百周年の



記念切手(限定版)が石丸会長から福引賞品として提供されて一層盛り上がりました。最後に『ふるさと』を全員で合唱。常田新副会長から「東京東雲会を一層発展させたい。そのためには年代の壁を壊して懇親し、新しい若い会員に参加して頂きたい」と力強く挨拶され、参加者全員が三本で締め、来年の再開を誓ってお開きとなりました。

昨年から、若い子育て世代にも参加して頂けるよう、お子様連れの参加可としており、今回は3組4名のお子様も参加され、益々アットホームな総会となって来ております。

令和6年東京東雲会総会&懇親会は7月6日(土)『法曹会館』で開催予定です。是非ご出席方お願いします。以下ご連絡方お待ちしております。

東海東雲会
令和5年度東雲会
東海支部活動報告
会長 中川 澄(山17)

R5.8.5(土)
東雲会定期総会出席(白兔会館)
鳥取東高等学校創立百周年記念祝賀会出席(ホテル・モナーク鳥取)
R5.11.12(日)
東海東雲会定期総会開催(嘉門セブンチャリ・豊田ビル店)
4年振りの開催でした。

【近況報告】
週2回のバドミントン(水、日)、毎週のボウリング(金)、毎週の合唱団(水)、カラオケは名古屋モーツァルト協会の歌好き4名のグループとの会が発足し月2回に増えました。

月2回のヤマハゴスペル教室は3月23日(土)の演奏会(Voces 2024)で引退しました。合唱団は7月14日に合唱曲「水のいのち」をメインに第11回演奏会を開催します。一日平均8千歩の散歩は継続しています。昨年は300万歩達成しました。



京阪神東雲会
冬の時代から
春を目指して
会長 岡田俊一(山12)

コロナ禍もやっと落ち着きを見せ、支部同窓会を令和5年11月18日に、大阪キャッスルホテルで4年ぶりに開催しました。総会&懇親会には本部長、母校校長など来賓の方をお迎えし60名の参加で久々の邂逅を確かめました。

京阪神支部の会員の参加状況は、当会報19号4頁の「同窓会活動は冬の時代」の中でグラフ化したように近年減少傾向が常態化しています。その中の開催でしたが、集まった方々の互いの無事を喜び合う姿を見てよかったですと思える内容でした。

昨年度の「総会案内、支部広報紙、会費納入のお願い、近況報告用の葉書」を当会で確認している京阪神地区の同窓生名簿を元に郵送しました。その結果を分析しまとめました。

- ① 本部の同窓会名簿に登録されている京阪神の有効同窓生の数が少ない。実際に居住している数が年々減少したり、本部に現住所の登録をしている数が少ないなどが考えられます。
- ② 当番幹事制度が機能していた年代の定着率が高く、会費の納入者も多い。
- ③ 山脈の57期以降は返信葉書も会費の納入もありませんでした。京阪神支部の会報では、返信葉書に近況報告を書いていただき、毎号で掲載しています。今回も107名の方々から返信をいただきました。毎年の会報を楽しみに、故郷と母校を思う気持ちで文面に表れています。この方々の気持ちに込めるためにも同窓会を継続していきます。

年々同窓会意識が希薄になりネット犯罪などの報道を日々目にする中で、人と人の絆が希薄になる傾向が続きます。その一方で、母校では世代を超えた交流会が開催されたり、個人的なLINEのつながりも活発になっていきます。

同窓会名簿で把握できていない関西在住の同窓生はもっとというはず

名簿に掲載されていない方や新たに転居をされた方などぜひご連絡をください。次回から総会案内をお送りします。

懇親会では同期の方に同じテーマを用意しますので同期生の集まりを兼ねてぜひとも参加をお願いいたします。

鳥取市役所東雲会
令和6年度鳥取市役所東雲会活動報告
会長 竹間恭子(山35)

元旦に発生しました令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた皆様に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。

さて、鳥取市役所東雲会は、1982年(昭和57年)に発足して以降、会員相互の親睦を図り、日常の市業務を円滑に行うことにより、市政の伸展に寄与することを目的に、鳥取市役所、鳥取市水道局、鳥取市立病院、そして鳥取県東部広域行政管理組合で働く鳥取東高等学校卒業生約360名で構成する組織です。

当会の主な事業は、毎年1月下旬に開催する「定例総会」、毎年8月上旬に開催する「夏季練成会」です。いずれも100名を超える会員が参加する二大イベントで、来賓として同窓会長、同窓会副会長、校長先生、そして顧問である深澤市長、尾室教育長、市議会議員をお招きし、盛大に開催しています。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、4年ぶりに各事業を開催することができました。8月には、126名の参加



者が集い、マグロの解体ショーを余興に、夏季練成会を開催しました。本年2月には、定例総会を開催し、総会後の懇親会では余興の「豪華景品を狙え!大じゃんけん大会」では原田校長先生にご協力いただき、参加者全員で大いに盛り上がりました。このように、いずれの事業も久しぶりの開催となり、日ごろ会うことの少ない会員同士で話が盛り上がるなど賑やかな会となり、会員の親睦を深める有意義な機会となりました。

また、本会では母校への貢献も重要な使命であると考えており、令和5年度も部活動を応援するためのクラブ助成金と全国大会出場応援金をそれぞれ贈呈させていただきました。母校で頑張る後輩たちを応援したいという想いで、これからも引き続き貢献活動を続けてまいります。

未来へ向かって、輝け、鳥取東高等学校の生徒たち!

Facebook同窓会
世代を超えた同窓会
井上法雄(山31)

東高の食堂に訪れることが、東高の世代を超えた同窓会の始まりでした。SNSの広まりにより、かつて会ったことのない人々や、通常は交流のない人々とも、共通の絆があれ

ば容易に結びつけられる時代が到来しました。これで9回目の開催となりますが、新型コロナウイルスの影響で一時中断しましたが、皆様の強い要望により、鳥取東高の卒業生として再び皆が一堂に集いました。

高校を卒業してしばらくは、東高についてあまり意識することはありませんでした。しかしながら、歳月と共に、過去の思い出がふと心によみがえります。私自身は青年経済団体に所属し、また現在も様々な組織に加わり、地域活動に従事しています。これらの組織に参加することで、学校や役所、銀行などの関係者との新たな繋がりが生まれ、Facebookというデジタルのツールを通じて多くの方々と交流することができました。

そう、彼もまた東高の先輩だったのです。その瞬間から、鳥取東高という学校に対する自覚が一段と高まりました。卒業したばかりのつながりが、仲間意識という大きな絆へと発展していったのです。このつながりは、私たち一人一人が社会の中で持つ大きな意味を垣間見せてくれるでしょう。時には意識することなく、私たちの心の中で。

今、社会は転換期を迎え、世代ごとに考え方や行動に違いが見られます。皆さんはそれぞれの分野で自らの才能を発揮し、活躍されています。

年齢や職業、世代を超えて集まり、共通の話題で語り合い、



楽しいひと時を過ごします。そうしたつながりが、新たな繋がりを生み出していくのです。これからも、ますます増え続ける卒業生たちのために、私たちの集まりが新たな形で続いていくことを皆で話し合います。

Facebookグループ「鳥取東高の友達」を立ち上げた山下篤男先輩や、この世代を超えた同窓会の中心人物である足利先生に感謝の意を捧げます。そう、Facebookは素晴らしいツール

令和5年度 会務報告

ですね。これまでの歩みがすべて記録され、デジタルなアーカイブとして残っています。

皆様もぜひ、「鳥取東高の友達」で鳥取東高卒業生という一つの絆を大切にしながら、笑顔と笑い声の絶えない時間を共有しましょう。桜もそろそろ咲き始めますね。

※この文章は、私が素材を作ったものをChatGPTに夏目漱石風にまとめてA1変換したものです。

- ★四月二十五日(火)校内東雲会総会
- ★会報『しのめ』第十九号発刊(六月十七日付)
- ★六月二十三日(金) 第一回創立記念日
- ★資料「鳥取東高等学校百一回目の創立記念日を迎えて」を生徒及び教職員へ配布(原田校長作成)
- ★七月一日(土) 東京東雲会総会(法曹会館)石丸会長、原田校長、滝波事務局局長が参加
- ★七月四日(火) 同窓会役員会(会議室)
- ★八月五日(土) 東雲会総会(白兔会館)
- ★懇親会(創立百周年記念祝賀会と合同開催)ホテル・モナーク鳥取
- ★十月十一日(水) しのめ基金第二号贈呈式
- ★十月十七日(火) 学校創設功労者ご遺族宇野田祥子様来校(トレーニングジム及び図書館見学)
- ★十一月十二日(日) 東海東雲会総会(嘉文・灘尾事務局専任が事務局長代理として参加)
- ★十一月十八日(土) 京阪神東雲会総会(大阪キャッス



宇野田祥子様帰郷
男子バスケット部使用中トレーニングジム見学

- ★十一月十四日(木) 会報『しのめ』第二十号編集委員会(しのめ館)
- ★二月二日(金) 鳥取市役所東雲会総会(白兔会館)石丸会長、上杉副会長、原田校長が参加
- ★二月二十九日(木) 令和五年度同窓会入会式(第一体育館)石丸会長、平井副会長、太田副会長、滝波事務局、灘尾事務局専任が参加



山脈12回同期生82歳です

松本 泰尚(山12)

2024年は能登半島地震で予想外の幕開けとなりました。被災者の方へのお悔やみ、お見舞いを申し上げると共に自然災害に油断は禁物、防災の心構えを強くしました。

2023年8月の東雲会総会の懇親会は前年の創立百周年記念祝賀会として大勢の方のお力で盛大に行われました。誠にめでとうございました。私たちのテーブルに原田校長がお見えになり、文化祭をやるうと思っているがコロナで文化祭を経験した学年がいなくて困っていると聞き、継続と絆の大切さを痛感しました。

さて、山脈12回生は昭和36年卒業です。舟木一夫の【高校三年生】は昭和38年のヒット曲。同期の集まりの締め曲として肩組み合って合唱したものです。山12回生は還暦、古希など多くの周年行事の他に、2003年には日光修学旅行と称して開催。懐かしい故郷の顔に笑顔が広がり、貴重な思い出作りになりました。鳥取から1泊2日の強行軍。まだ現役も多く夢や希望に向かい精進しバブル期を謳歌した人の集まり。自慢話、失敗談で盛り上がり日光の森は夜が更けました。華厳の滝、戦場ヶ原、東照

宮などを駆け巡りました。

2007年と2019年の神戸修学旅行は関西地区の皆さんのお陰で実現。関東地区からも大勢が参加し、鳥取東高ゆかりの方のクルーズ船コンチェルトでのランチクルーズ、トワイライトクルーズを楽しみました。

2009年の東京修学旅行は青山のホテルフロラシオンに36人が参加。2日目、3日目は自由行動で、はとバス組、八王子高尾山を目指す山ガールもいました。おぼーちゃん原宿と呼ばれる巣鴨のとげぬき地蔵、寅さんの葛飾柴又を尋ねたグループもいました。

首都圏では、毎年7月の東京東雲会のあと決まって帝国ホテルのラウンジで談笑。東京山12回生の輪は広がり、夜は八重洲の居酒屋、ランチは新宿西口に集まり中華料理店謝鵬殿で会食、そのあと京王プラザで



1,300円のコーヒー、時に東京都庁の展望台で夕方の富士山を眺めました。現在は18人ほどになり、コロナで中断しましたが毎年新年の集まりを実施。写真は2024年の新年会(皇居前のホテル)の様子です。全員同期生82歳です。

山脈13回傘寿同窓会

青木 敏昭(山13)

令和5年6月18日(日)に傘寿の同窓会を開催致しました。本来なら数え年80才で年祝いをするところですが、コロナ禍で一年遅れての開催となりました。山本孝雄先生と長石肇先生は、残念ながら欠席されました。山本先生は出席の予定でしたが、ケガで入院され、娘さんがビデオレターを御持参下さいました。「傘寿の同期生会開催おめでとう。出席を楽しみにしていただけに残念です。盛会をお祈りいたします」病衣でしたが、お元氣そうで話しぶりも先生らしく高校生時代を思い出しました。物故者への黙

へ



袴に続き開会司会は米澤(山崎)洋子さんと縄田泰之君。同窓会東雲会前会長の常田享詳君が、鳥取東高創立100周年記念事業への同級生の協力に、感謝を述べ母校と会員の益々の発展を祈念し乾杯しました。久し振りの再会に話もはずみ、席も入り乱れて楽しい会になり皆が喜んでくれました。

楽しい会もあつという間に過ぎ、「13回生関東同窓会」の活動を山本宏義君が報告され納杯。校歌斉唱でお開きとなりました。次回は「卒業65周年」を目標とすることになりました。山本孝雄先生は、令和6年1月19日(金)に亡くなられ1月23日(火)の葬儀には13回生として生花、御香典を送り、有志数名が参列致しました。

山脈22回拡大幹事会による同窓会活動について

代表幹事 浅倉 俊一(山22)

本年、我学年は72才を迎え、同窓会について回顧してみたい。最初の卒業20年同窓会では50人を超えた幹事数が、還暦前の35・40回あたりでは半分程度となった。

その頃、関西地区同窓会の当番世話役がいないとわかり、鳥取から応援にかけつけ、関西在住同級生に世話役幹事をお願いし、大型船での同窓会が開催できた。この事を期に鳥取幹事会も幹事以外の人に随時加入してもらおう拡大幹事会とし、場所は同級生の店で定期的に会合を開催。その後、同窓会以外に学年有志によりホテルオークラ及び日光東京での東京地区同級生との交流会、淡路島

及び京都への旅行を企画実行し、季節毎に花見・花火大会時ビヤガーデン等にて拡大幹事会を行った。60歳以降、年金給付後土曜日に年金の会・拡大幹事会を定期開催。昨年は生存お礼参り・伊勢神宮特別参拝を兼ねて卒業53年同窓会を開催した。また連絡等はラインSNS利用し、メンバーは出入自由で随時変更し、拡大幹事会を継続し次の同窓会またの名を生存確認会に備えている状況である。



山脈54期卒業20周年同窓会

北村 良太(山54)

「同窓生」は同じ学校、同じ師より学んだ者。「同級生」は同じ学級、いわゆるクラスメイト。

こちらは2023年8月12日に開催された同窓会での、冒頭の私の挨拶



同窓会報「しののめ」第19号の協力金納入の現況



同窓会員の皆様には、多大なご理解とご支援をいただきまして厚くお礼申し上げます。
第19号の協力金納入は次のとおりです。

- ★会員発送数 20,425冊
- ★協力金入金件数 1,005件 (前回比208件減)
- ★実質の協力金入金 2,149,090円 (協力金一振込手数料 (前回比662,279円減))
- ★必要経費(会報・封筒の印刷、郵送費等) 3,300,000円

一連の創立百周年記念事業も無事終了し、新たな気持ちで今年度も同窓会報『しののめ』をお届けできるのは、同窓生の皆様のご支援の賜物であると感謝いたしております。同窓会報『しののめ』の発行に関する経費は、会員の皆様のご協力のおかげで赤字幅は徐々に減少しています。会報『しののめ』の更なる充実に向けて取り組んで参りたいと思いますので、一人でも多くの同窓生の皆様からのご支援、ご協力をお願いいたします。 本部事務局 事務局長 滝波和宏

令和6年度 同窓会(東雲会)定期総会及び各支部総会の日程について

下記の日程で予定しておりますが、社会状況により延期・中止となる場合がございます。今後の詳しい状況・日程につきましては巻末に表示されている本部、各支部のホームページ等でご確認ください。

鳥取東高等学校同窓会東雲会総会ご案内

日時 令和6年8月3日(土)
役員会 午後3時30分～
定期総会 午後4時00分～
懇親会 午後5時00分～
会場 白兎会館(鳥取市末広温泉町556)
電話(0857)23-1021

鳥取東高等学校 卒業20周年同窓会(山脈55)のご案内

日時 令和6年8月12日(月・祝)
会場 ホテルニューオータニ
詳細は後日郵送するハガキにて、ご案内させていただきます。何か不明な点がございましたら、鳥取東高(0857-22-8495)の石田までご連絡いただければと思います。

東京東雲会総会ご案内

日時 令和6年7月6日(土) 12:00開会
場所 『法曹会館』
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-1
URL:一般財団法人 法曹会 | 法曹会館(hosokai.or.jp)
今年度は、柴山抱海先生にお出で頂き、揮毫&スピーチを実施頂く予定です。その他の企画・会費等につきましては、後日HP等でお知らせいたします。
*お子様連れ、介護者同伴での参加も歓迎しておりますので事前にご連絡をお願いします

東雲会東海支部総会・懇親会

日時 令和6年11月10日(日)
会場 嘉門 センチュリー豊田ビル店
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目9-8)
電話(052)564-7788

京阪神東雲会総会ご案内

日時 令和6年11月16日(土)
場所 大阪キャッスルホテル 6階
受付 12時00分
総会 12時15分～13時00分 懇親会 13時00分～15時30分



同窓会名簿第13号発刊!

同窓生の皆様がより繋がりが深く交流なされるよう、令和7年6月、本同窓会名簿を発刊させていただきます。皆様の大切な情報をお預かりするため、細心の注意を払い発行作業を進めさせていただきます。名簿発刊に向け、本年9月、(株)サラトを通じ「調査ハガキ」を同窓生の皆様にお送りします。そのため、この度の会報には「異動連絡ハガキ」は同封していません。名簿発刊にあたり、昨今の情勢に鑑み会員の皆様に次の点について2点ご連絡申し上げます。
①名簿発刊の準備でお送りする「調査ハガキ」は(株)サラトを通じて

お送りします。往復ハガキとなっております。往信の宛名は「鳥取市立川町5-210 鳥取県立鳥取東高等学校同窓会 東雲会」宛です。*もし、上記以外の調査が来た場合は、本同窓会のものではありませんので、回答しないようお願いください。
②本名簿は会員相互の親睦を図ることを主としています。商業行為へのご利用はなさないようお願い致します。また、過去に発刊した名簿等についても、安易に譲渡、売却、古書として廃棄する等の行為は絶対になさないようお願い致します。万が一、ご不審な点がありましたら「調査ハガキ」に記載されている、(株)サラト直通フリーダイヤルへお問い合わせくださるよう宜しくお願い致します。



- 【本部】 公式ホームページ：<https://sites.google.com/view/torie-shinonome>
Instagramアカウント：[@tottori_higashi_shinonomekai](https://www.instagram.com/tottori_higashi_shinonomekai)
- 【東京東雲会】 メール：tokyo.shinonomekai@gmail.com
公式ホームページ：<https://tokyo-shinonomekai.jimdo.com/>
Facebook：<https://www.facebook.com/groups/Tokyoshinonome/>
卒業生でフェイスブック利用の方はメンバー参加のリクエストをお願いします。
- 【東海東雲会】 電話：090-2134-0671 (中川 澄会長)
- 【京阪神東雲会】 メール：keihanshinshinonome@gmail.com
公式ホームページ：<https://keihanshin-shinonome.club/>
facebook：<https://www.facebook.com/groups/tottorihigashi/>
Instagramアカウント：[@keihanshinshinonome](https://www.instagram.com/keihanshinshinonome)



自分が鳥取東高校を卒業し、母校を巣立ったのが昨年のように感じられる。しかし気づけば、教員という立場で母校に戻っており、4年も経過しようとしている。時間の流れを速く感じる一方で、時間は経っても変わらない高校時代の同級生との仲に安心感を覚える。宴会の席に同級生が集まれば、必ず高校時代の思い出話誰かからともなく出てくる。このとき、高校時代が楽しかったことを改めて実感する。現役生には、精一杯学校生活を楽しみ、3年間を駆け抜けてほしいと思う。高校生活に全力で取り組むほど、後から感じる充実感は大い。大人になり、ふと振り返ったとき、楽しかったなと感じてくれることを願って編集後記とする。 網谷 季昌 (山67)